第２回　理事会　報告

日　時　令和２年 11 月 20 日（金）　13：30～15：50
場　所　コラッセふくしま（福島市）及びオンライン
出席者　理事17名、監事1名
　　宍戸宏行会長、中目敏雄、大原百合、菅沼恒博副会長、
　　村山敦子、草野智正、高山　浩常任理事、佐川弘行、白岩裕和、村上彰啓、草野昌利
　　田中竜夫、榎田哲士、加藤和志、吉田昌樹、鈴木慎太郎、真船あい理事
　　塩﨑京子監事
欠席者　理事２名　渡邉浩美、真船　茂理事

審議事項
１．臨時総会の開催について
（1）臨時総会の開催
　郡山支部と白河支部の合併について、支部細則を改正することを承認した。
　支部の名称は、白河支部ができる前と同じ「郡山支部」とする。
　また、合併により来年度の役員改選における理事定数が減少することが予想され、社労士会の事業の実施状況を鑑み、その時々で柔軟に対応できるよう以下のとおり臨時総会を開催し来年度の役員改選に備えることとした。
　　日時：１２月１７日（木）１４時～
　　場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

（2）議案
　臨時総会に提案する議題は、支部長及び支部推薦による理事候補者のほかに、会長が推薦する理事候補者（２名以内）を設けることができるものとする。
　また、郡山支部と白河支部の合併により改正した支部細則について、総会で報告するものとする。
　なお、支部の設置、役員の選任に関する会則等の改正となるため、総会で承認後は福島労働局の認可を受ける。

２．会長選挙について
　来年度総会での会長選挙について、コロナ禍での開催・実施となることが予想される。現在の定めによると会長選挙での選挙権は総会出席者となり、今後、投票の方法など（例えば郵便投票等）を議論するには時間が足りないため、来年度総会は大きな会場を借り感染予防に努めつつ開催する。

３．ホームページについて
　３月からホームページをリニューアル公開できるよう進める。詳細については、都度詰めていく。

４．労働条件審査・診断ツールの会員向け研修について

労働条件審査・診断ツールや連合会認証制度に関する会員向けの研修会を３月上旬までに開催する。詳細については働き方改革労務監査委員会で検討する。

５．デジタル化推進研修について

デジタル化に関する研修会を開催する。詳細はデジタル化推進委員会で検討する。

６．その他

(1) 支部研修会への協力について

支部がZoomで研修会を開催する場合、県会契約のZoomアカウントの使用について協力する。

報告事項

１．新型コロナウイルス感染症支援について

福島県との災害協定に基づくホットライン（無料電話相談）については１２月まで対応する。

２．事務局ノートパソコンの購入について

Zoomでの研修会、会議の増加によりノートパソコンを入れ替える。

３．北海道・東北地域協議会会長会議（11月13日）の報告

北海道・東北地域協議会の規程を見直す。

また、今年度地協主催の研修会をすべて中止としたことから、研修費相当額を地協の道県に分配する。

４．会員からの照会

会員からの照会内容及び対応について報告した。

５．日当の取扱いについて

オンライン会議における日当の扱いについて、年度内に連合会で検討する。場合によっては、旅費規程の改正が必要となることを確認した。